

## 姉妹都市レッドランズ市

姉妹都市提携とは、規模や性格の似ている二つの都市の住民が、人種や国境を越えた友情によって固く結ばれ、文化や経済の交流を通じて相互の理解を深め、国際親善と世界平和に役立てようとするものです。日本では、昭和30年(1955)に長崎市とアメリカのセントポール市が姉妹都市提携を結んだのが初めとされます。

日野市は日野町の時代に、アメリカのレッドランズ市と姉妹都市提携を結びました。昭和38年7月、市制施行を迎える直前の出来事でした。

アメリカ合衆国カリフォルニア州南部にあるレッドランズ市は、ロサンゼルスから東へ約96キロメートル、当時の人口は約3万5000人、温暖な気候でオレンジやレモンの産地です。当時の市長はチャールス・C・パーカーという人物でした。

昭和37年7月、来日中のレッドランズ市のハーリー・R・ウォーリー総務局長が、レッドランズ市にふさわしい姉妹都市提携相手を探していることを知った立川市長の仲介で、古谷太郎日野町長とウォーリー総務局長が会談しました。これが日野町とレッドランズ市の姉妹都市提携の始まりです。これより前(昭和34年)、すでに立川市は、米軍基地があった関係で、アメリカの同じくカリフォルニア州サン・バーナディノ市と姉妹都市提携を結んでいました。そのつながりで立川市が仲介を頼まれたのです。

日野町では、レッドランズ市出身で在日米軍立川基地勤務のロバート・E・ゲイ少佐夫妻を中心に、関係者の間で「梨狩り」や「ガーデンパーティー」「生花会」「お茶会」などの親善行事をたびたび開き、友好を深めました。

昭和37年11月にレッドランズ市議会で、日野町との姉妹都市となることを宣言する決議文が採択されました。翌38年1月には、レッドランズ市から日野町に、姉妹都市旗と共にクマの絵が描かれたカリフォルニア州旗とが贈られました。また、レッドランズ市は4月3日を「日野町の日」と定め、パーカー市長が日野町長宛に国際電話をかけるという一大イベントも行われました。その日、日本時間では4月4日の正午頃、日野町町民集会場にはたくさんの町民が集まり、ゲイ少佐夫妻らを招いて、国際親善の集いが催されました。会場では、約1時間にわたる国際電話の内容が拡声機で流されました。

このような盛り上がりの中、昭和38年7月に、日野町議会でも、レッドランズ市と姉妹

都市提携を結ぶことが議決されました。そして11月に日野町は市制施行しました。

日野市の市制祝賀のため、翌39年4月、パーカー市長が初めて日野市を公式訪問しました。パーカー市長は、慰霊塔（矢の山公園）、日野自動車、富士電機、豊田の山口家、多摩動物公園、日野桑園、七生農協などを案内されて見学しました。百草園で開かれた夕食会では、寿司やてんぷらなどの日本料理を食べ、「日野音頭」を一緒になって踊ったそうです。

以来、日野市とレッドランズ市との友好は続いています。昭和59年には日野・レッドランズ友好協会（現、日野・レッドランズ姉妹都市協会）が設立され、高校生のホームステイを中心に両市の市民交流を推進しています。市役所1階ロビーには、レッドランズ市を紹介するコーナーもありますので、機会があればご覧ください。

（日野市郷土資料館 矢口祥有里）



レッドランズ市から贈られた姉妹都市旗とカリフォルニア州旗

◎これは「広報ひの」平成25年10月15日号に掲載された記事の詳細版です。

郷土資料館にて印刷したのものも配布しています。

（お問合せ）日野市郷土資料館（電話 042-592-0981）